

就職体験談(二)

こうらくらく

卒業生氏名： 耿 楽楽(中国出身)

卒業年度： 2019年3月

卒業学部・学科： 短期大学部・社会福祉学科

私は中部学院大学短期大学部社会福祉学科で2年間勉強しました。介護福祉コースに入学した私は、最初介護の勉強に戸惑いました。しかし、勉強を進めていくにつれ介護の技術や人とのコミュニケーションの取り方など対人関係の仕事を好きになりました。

就職にあたって、クラスメートや就職活動を通して知り合った人などから就職情報を取得でき、介護関係の企業だけではなく、一般企業にも視野を広げました。また、社員の方に直接質問をすることにより、会社説明会やウェブ上の情報ではわからない、その企業の深い部分やマイナスの部分も知ることができました。

特に、履歴書の書き方など悩んでいた時、大学のキャリア支援センターやゼミの先生にアドバイスをいただき、内定まで進むことができたことは忘れることができません。「視野を広く持ち、様々な人から情報を得る」ことは私の就職活動に大きなポイントになりました。

入社後たくさんのお客様と接するときにも、大学で学んだコミュニケーション技術が生かされていることが実感できます。日本人や外国人の方の役に立てていることが大変嬉しく思います。

2019年6月